



連合愛知安全衛生センターだより

愛知県勤労者安全衛生センター 〒456-0002 名古屋市熱田区金山町1丁目4-18 ワークライフプラザれある 3F
TEL (052) 684-0003 FAX (052) 684-0303 連合愛知ホームページからも閲覧できます <https://anzen0003.rengo-aichi.or.jp/>

2023年度 現場視察の取り組み

労災防止に向けた安全研修を実施 JR東海名古屋工場

9月19日（火）安全衛生センター第3回理事研修会として、JR東海ユニオンのご協力のもと、JR東海名古屋工場の視察会を開催しました。

東海豪雨で被災した際の教訓から得た「止水板の設置による工場内雨水流入防止対策」や最新のVRを用いた「事故防止研修」の取り組みなど、様々な取り組みを視察させていただきました。また、JR東海名古屋工場の皆様と労働災害防止にむけた取り組みについて意見交換を行いました。

- 工場内の安全対策
- 安全衛生委員会の取り組み
- 過去の災害状況等
- 熱中症防止対策

※JR東海名古屋工場は1987年（昭和62年）4月1日国鉄分割民営化によりJR東海が承継、鉄道事業本部名古屋工場となり2022年（令和4年）に改修工事が完成しました。

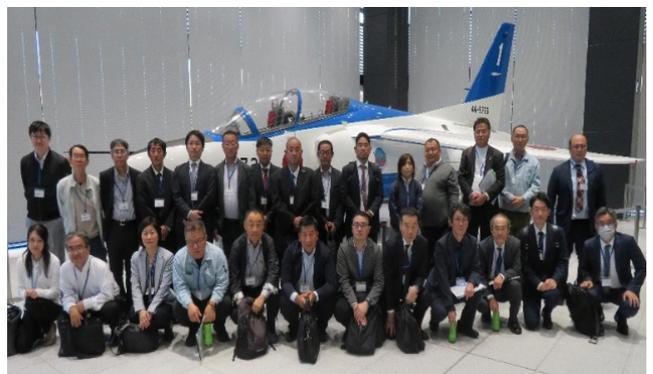


優良事業場の安全管理体制を視察 川崎重工業岐阜工場

10月24日（火）愛知労働基準協会主催による「優良事業場見学会」に寺田事務局長、鶴亀所長が参加し、川崎重工業（株）岐阜工場を視察しました。岐阜工場では、防衛省向け航空機、民間航空機の分担製造品のほか、ヘリコプタ、対戦車誘導弾、小型衛星などの製造開発を行っています。

安全対策の主な取り組みとして、大きな機体の組み立て作業が多いため、高所作業時の足場確保、転落防止ロープの設置などが実施されていました。

また、社内用の安全衛生に関するHPを構築し、過去災害・ヒヤリ事例や様々な安全衛生に関する情報を一元管理し情報の共有が進められていました。その他においても最新の技術と設備をもとに安全管理体制が整えられていました。



連合愛知「心の相談室」 ☎052-618-7831



（受付時間）

月曜日 15:00～19:00

水曜日 12:00～19:00

金曜日 16:00～20:00

職場の年末安全衛生推進運動

あたりまえの「行ってきます」と
あたりまえの「ただいま」
どんなに機たたくても、あたりまえは変わらない
だから私たちは、危なさを向きあう
その先の新年へ



運動期間：2023年12月1日～31日



<第82回全国産業安全衛生大会への参加報告>

(大会開催概要)

開催日時：2023年9月27日（水）～29日（金）
 開催場所：ポートメッセなごや
 参加者：全国より約10,000名
 安全衛生センターより18名（理事他）

UAゼンセン 全ヤマナカ労働組合
 八道 理事

■ サミットにおける労災防止の取り組み ～現場が自ら取り組みだすために～を聴講して

どの様に労災を防止していくか？安全衛生委員会では、実際に起こった労災についての今後の対策や、集約したヒヤリハットの事例についての共有や検証を行っています。しかし、労災の防止は本部からの指導や検証だけではなく、現場が安全衛生にどの様に意識をもって向き合っているかが大切です。

食品スーパーの現場は、本部の目の届かない場所に多く点在しています。また、雇用形態は正社員のほかに、多くの短時間勤務（パート・アルバイト）、65歳を超えたシニア層、また、技能実習生といった多岐にわたります。

今回の特別報告では、サミットにおける具体的な取り組みを中心に、労災防止は、店舗と安全衛生担当の人事部のみで行われるのではなく、店舗を統括する部署や、商品部といったいわゆる営業部署を巻き込みそれぞれが自分事として取り組むことの重要性について話を聞くことができました。

セミナーにおいては、過去の重大事故を契機に、経営上の重要な優先課題の一つと位置付け、現場だけでなく、経営層、管理職層への意識改革とともに、人事部が店舗、営業部署へしっかりとコミュニケーションをとり、自ら対策を立案して実行する働きかけや、建前だけの取り組みにならないよう人事考課項目に明記するといった事例が紹介されました。

安全衛生教育の一環として、労働組合も職場代表を連れて、安全衛生についての教育をする為に他産業の工場見学を行うといった活動も行ったそうです。

安全衛生の啓もう活動は、とかく風景になってしまいます。サミットにおいては安全衛生の取り組みにより、現場自らが取り組みを進めることで意識が高まり、労災の件数が減少することができたそうです。

現場が自ら取り組みだすための環境づくり、教育、コミュニケーションが労災防止に重要であると気づかされた内容でありました。

ゴム連合 イノアック労働組合
 萩原 理事

■ ～非常作業に特化した活動～ を聴講して

弊社では非常作業時での災害が多いことから、安全管理活動文科会の非常作業のリスク発見に的を絞った取り組み事例のテーマを受講しました。

非常時の作業リスクのパターン化と、それに基づいたチェック表によるリスクの抽出漏れのない仕組みづくりは大変参考になった。非常作業を行うにあたってのリスクの掘り起こしだけでなく、作業前準備、作業中・作業後の点検確認、ツールボックスミーティングの定着とそれが習慣化できる風土づくりに向けて、安全衛生委員会や労使協議会、現場パトロール等を通じて会社に提言していくことが、労働組合としての安全衛生活動の一つの大事なことだと、あらためて思い直すことができました。

自治労 愛知県本部
 鈴木 理事

■ 全国産業安全衛生大会に参加して

82回目となる今回は「名古屋の地で掲げよう 安全・健康の旗印」がテーマとなっています。名古屋での開催は8年ぶりとなり、安全衛生スタッフや管理・監督者など、全国から集結し、「ポートメッセなごや」の会場をメインに専門家による講演を中心に、安全衛生管理の改善事例発表など多彩なプログラムがオンライン限定（10月13日まで視聴可能）のプログラムも用意され、3日間にわたり繰り広げられました。

私の元々の職場は運輸職場ですが、今大会を通じ自職場の安全衛生活動の再確認ができました。今は停滞気味の安全衛生活動ですが、これまでやってきた取り組みは、他企業と引けをとらない活動であるとの確認ができました。

今後はやらされ感ではなく、自分達の安全は自分で守るという意識で、やるべき安全衛生活動を愚直にやっていくということだと思います。職場全体で地道な安全衛生活動を継続して、安心して働ける職場づくりをしていきましょう！！

2023年10月度 愛知県の死亡災害発生状況 <11月10日現在速報値>

25人（4人） 対前年同期29人（6人） ※（ ）内は交通事故による死亡者の内数

	業種・規模	被災者	事故の型	災害状況
10月	繊維工業 1,000名以上	保全工 40代（10年）	飛来・落下 その他の一般動力機械	搬送機の修理中、修理していた搬送機の一部が落下し頭部に激突した。
	陸上貨物取扱業 30～49名	保全工 40代（10年）	はさまれ・巻き込まれ トラック	トラックを運転して商業施設に商品の配送を行っていたが、同トラックとブロック塀の間に挟まれ、死亡した。
	道路貨物運送業 50～99名	貨物自動車運転者 60代（9年）	はさまれ・巻き込まれ トラック	トラックに対する荷役作業が終わったため、被災者は、運転席から降り、車体後方の扉を開めようとした際、同トラックが後方へ動き出し、トラック後部と搬入口との間に挟まれ死亡した。